

環境経営レポート

令和6年度

令和6年 7月 ~ 令和7年 6月



作成日 令和7年 9月 1日



野中建設 株式会社

目 次

1.	組織の概要	P1
2.	環境経営方針	P2
3.	実施体制	P3
4.	環境経営目標とその実績	P4 P5 P6
5.	主要な環境経営計画の内容	P7 P8
6.	環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組み内容	P9
7.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P10
8.	経営者の評価と見直し	P11

1. 組織の概要

1. 事業所名 野中建設 株式会社
代表者 代表取締役 野中 正博
2. 所在地 〒849-1201 佐賀県杵島郡白石町大字牛屋3466
3. 環境管理責任者 野中 慎吾
連絡先担当者 野中 慎吾
連絡先 TEL 0954-65-3052 FAX 0954-65-3070
E-mail nonaka_kensetu@tkcnet.ne.jp
4. 認証・登録範囲 土木工事業・水道施設工事業・とび・土工工事業・
(事業内容) 舗装工事業・鋼構造物工事業・管工事業・建築工事業
解体工事業
5. 建設業の許可
 - 1) 許可番号 : 佐賀県知事 許可(特-1) 第1395号
許可の有効期限 : 令和6年12月3日 ~ 令和11年12月2日まで

建設業の種類 : 土木工事業、水道施設工事業、とび・土工工事業
舗装工事業、鋼構造物工事業、解体工事業
 - 2) 許可番号 : 佐賀県知事 許可(般-1) 第1395号
許可の有効期限 : 令和6年12月3日 ~ 令和11年12月2日まで

建設業の種類 : 管工事業、建築工事業
6. 取り組み活動 全組織、全活動
7. 事業年度 7月1日 ~ 翌6月30日
8. 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
		2022. 7月 ~2023.6月	2023. 7月 ~2024.6月	2024. 7月 ~2025.6月
工事等件数	件	63	56	58
売上高	百万円	292	420	254
従業員	人	14	14	14
事務所床面積	m ²	78	78	78
倉庫床面積	m ²	190	190	190
資機材置場面積	m ²	2000	2000	2000

2. 環境経営方針

基本理念

当社は、土木・建設業を主な事業とし、その総ての事業活動について、地域性及び環境への関連を考慮し、自然環境との調和及び環境負荷の低減に取り組み、環境保全活動を継続的に改善します。

環境保全の行動指針

1. 環境関連法令規制とその他要求事項を遵守します。
2. 次の事項を、環境への負荷を軽減するために実施します。
 - ① 環境に配慮した施工（事故の防止、手戻りの防止、創意工夫等）
 - ② 使用エネルギーの低減による二酸化炭素排出量の削減
 - ③ 廃棄物排出量の削減及び分別による再利用の推進
 - ④ 節水
 - ⑤ グリーン購入（再生資源を含む）の推進
 - ⑥ ボランティア活動の推進
3. 環境経営の継続的改善を誓約する。
4. この環境方針は、全社員へ周知徹底し、環境保全に関する意識を高め、社内外における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

制定日 平成 21 年 11 月 1日

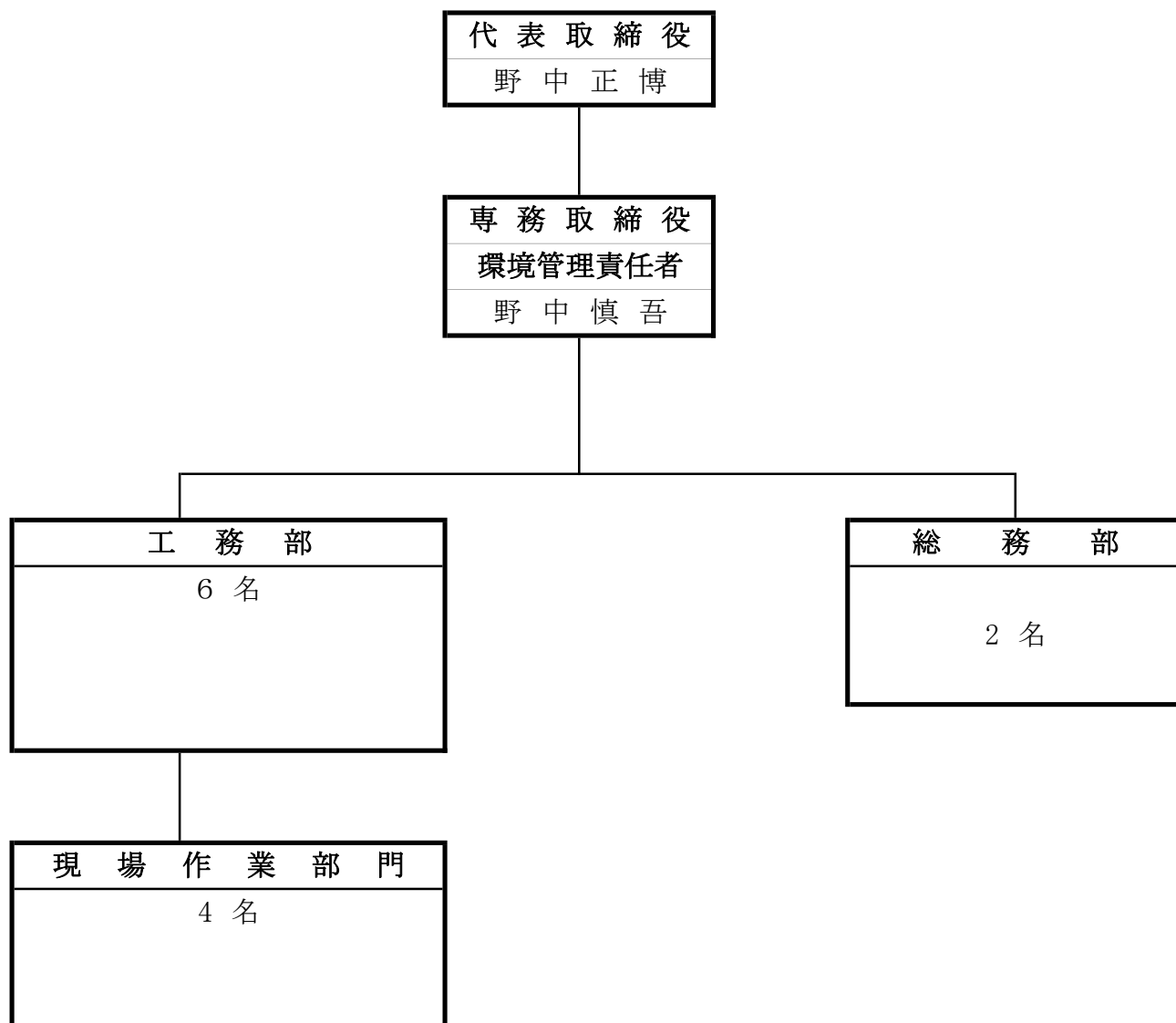
改定日 令和 4 年 7 月 1日

野中建設 株式会社

代表取締役 野中正博



3. 実施体制



◎役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
野中正博	代表取締役	全体統括、環境方針の設定と環境への取組を実施するための資源の準備、及び全体の評価と見直し
野中慎吾	専務取締役 環境管理責任者	環境管理責任者として、環境経営システムを構築・運用しその状況を把握する
総務部	総務部	事務所における電力、水、油の消費量の管理と廃棄物量の排出量管理を行う
工務部	工務部	現場における環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の把握と改善を行う
現場	工務部	現場においては現場代理人が電力、水、油の消費量の管理と廃棄物量の排出量管理を行う

4. 環境経営目標とその実績

4-1 環境経営目標(事務所)

環境目標		単位	基準年 R.5	R6年 基準年の1%削減	R7年 基準年の2%削減	R8年 基準年の3%削減
二酸化炭素の排出量の削減	電力	Kwh	7,511	7,436	7,361	7,286
	ガソリン	L	2,247	2,225	2,202	2,180
	CO2排出量	kg-CO2	7,855	7,776	7,698	7,619
廃棄物排出量の削減		ton	97	96	95	94
水使用量の削減		m3	17.40	17.23	17.05	16.88
グリーン購入 (再生資源を含む)		品目	4品目以上	4品目以上	4品目以上	4品目以上
ボランティア活動		回	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上

4-2 環境経営目標の達成状況(事務所)

環境目標	単位	R6年度目標	R6年度実績	達成状況(%)	評価
電力	Kwh	7,436	7,434.0	100.02	○
ガソリン	L	2,225	2,573.4	84.34	△
CO2排出量	kg-CO2	7,776	9,070.6	83.36	△
廃棄物排出量の削減	ton	96	99.000	96.88	△
水使用量の削減	m3	17.23	15.4	110.62	○
グリーン購入 (再生資源を含む)	品目	4品目以上	10品目	100.0	○
ボランティア活動	回	3回以上	6回	100.0	○

[注] 購入電力の実排出係数は、0.417(九州電力(株)令和5年度)を用いています。

評価判断基準: ○ \geq 100% 80% \leq △ $<$ 100% × $<$ 80%

※営業でのガソリン使用量の増加

4-3 環境経営目標（建設現場）

建設現場では、現場条件、施工状況等により、一様ではない。

そのため、

- ①環境に配慮した施工(事故の防止、手戻りの防止等)
- ②二酸化炭素排出量の削減。③廃棄物のリサイクル化の徹底。
- ④グリーン製品(再生資源を含む)の購入。ボランティア活動。等を環境目標として設定する。

項目	単位	基準年 R.5	R6年 基準年の1%削減	R7年 基準年の2%削減	R8年 基準年の3%削減
環境に配慮した施工(事故の防止、手戻りの防止等)	件数	—	事故・手戻0件 創意工夫1件	事故・手戻0件 創意工夫1件	事故・手戻0件 創意工夫1件
電力	Kwh	5,642	5,586	5,529	5,473
灯油	L	180	178	176	175
ガソリン	L	7,075	7,004	6,934	6,863
軽油	L	17,443	17,269	17,094	16,920
CO2	kg-CO2	63,368	62,734	62,101	61,467
廃棄物のリサイクル化	%	70%	71%	72%	73%
グリーン購入 (再生資源を含む)	品目	4品目以上	4品目以上	4品目以上	4品目以上
ボランティア活動 (各現場)	回	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上

4-4 環境経営目標の達成状況（建設現場）

項目	単位	R6年度目標	R6年度実績	達成状況(%)	評価
環境に配慮した施工(事故の防止、手戻りの防止等)	件数	事故・手戻0件 創意工夫1件	事故・手戻0件 創意工夫1件	100.0	○
電力	Kwh	5,586	9,698.0	26.39	×
灯油	L	178	0.0	100.00	○
ガソリン	L	7,004	7,348.8	95.08	△
軽油	L	17,269	19,921.7	84.64	△
CO2	kg-CO2	62,734	73,288.1	83.18	△
廃棄物のリサイクル化	%	71	77	108.5	○
グリーン購入(再生資源を含む)	品目	4品目以上	6品目	100.0	○
ボランティア活動（各現場）	回	3回以上	9回	100.0	○

[注] 購入電力の実排出係数は、0.417(九州電力(株)令和5年度)を用いています。

評価判断基準: ○ \geq 100% 80% \leq △ $<$ 100% × $<$ 80%

※電力使用量の未達成は、現場が長期間だったことと思われる。

4-5 環境経営目標（会社全体）

項目	単位	基準年 R.5	R6年 基準年の1%削減	R7年 基準年の2%削減	R8年 基準年の3%削減
電力	Kwh	13,153	13,022	12,890	12,759
軽油	L	17,443	17,269	17,094	16,920
ガソリン	L	9,322	9,229	9,136	9,043
CO2	kg-CO2	71,223	70,510	69,799	69,086
廃棄物のリサイクル化	%	70%	71%	72%	73%
グリーン購入 (再生資源を含む)	品目	8品目以上	8品目以上	8品目以上	8品目以上
ボランティア活動 (各現場)	回	6回以上	6回以上	6回以上	6回以上

4-6 環境経営目標の達成状況（会社全体）

項目	単位	R6年度目標	R6年度実績	達成状況(%)	評価
電力	Kwh	13,021	17,132.0	68.44	×
軽油	L	17,269	19,921.7	84.64	△
ガソリン	L	9,229	9,922.2	92.49	△
CO2	kg-CO2	70,510	82,358.7	83.19	△
廃棄物のリサイクル化	%	71	77	108.5	○
グリーン購入(再生資源を含む)	品目	8品目以上	16品目	100.0	○
ボランティア活動（各現場）	回	6回以上	15回	100.0	○

[注] 購入電力の実排出係数は、0.417(九州電力株令和5年度)を用いています。

評価判断基準：○ \geq 100% 80% \leq △ $<$ 100% × $<$ 80%

※電力使用量の未達成は、現場が長期間だったことと思われる。

5. 環境経営計画の内容

(事業所)

1) 二酸化炭素排出量の削減

- ① 無駄な電気を消す
- ② エアコンの温度を夏場は26℃、冬場の温度は22℃に設定する。
- ③ タイヤ空気圧の調整
- ④ エコドライブの実行
- ⑤ 車両の点検・整備

2) 廃棄物排出量の削減

- ① コピー用紙の裏紙利用促進
- ② データ通信(紙情報通信の抑制)の活用
- ③ ゴミ分別の徹底

3) 水使用量の削減

- ① 節水活動の推進

4) グリーン購入

- ① 事務所内で使用する照明器具、事務機器等の購入の際はエネルギー効率のよいものを購入する。

5) ボランティア活動の実施

- ① 草刈り・道路清掃を行う。
- ② カーブミラー清掃
- ③ 献血の協力

(現場)

- 1) 環境に配慮した施工
(事故の防止、手戻りの防止、創意工夫等)
 - ① 事故ゼロ(危険予知活動、安全パトロール)
 - ② 手戻りゼロ(作業前のミーティング、打ち合わせの徹底)
 - ③ 創意工夫(コンクリート管理、土工管理等)

- 2) 二酸化炭素排出量の削減
 - ① 無駄な電機は消す
 - ② アイドリングストップの実施
 - ③ タイヤ空気圧の調整
 - ④ エコドライブの実行
 - ⑤ 車両の点検・整備
 - ⑥ 重機・ダンプの空ふかしはしない

- 3) 廃棄物のリサイクル化の促進
 - ① 分別及び適正処理を徹底する
 - ② マニフェストの管理を徹底する
 - ③ 廃棄物排出の低減を図る
 - ④ 環境教育を実施する

- 4) グリーン購入
 - ① 現場で使用する製品等の購入の際は、
できる限り環境への負荷が少ない
ものを購入する。
 - ② 再生資源を購入する。

- 5) ボランティア活動を実施
 - ① 道路・河川・公園等の清掃活動を行う
 - ② 不法投棄抑制のためのパトロール

6.1 環境経営計画の取組結果の評価

① 事業所

取組計画	責任者	取組	評価
二酸化炭素排出量の削減	野中友	○	無駄な電気を消した。 夏場のエアコンは28℃、冬場の温度は22℃にした。
廃棄物排出量の削減	野中友	○	電子化の促進を行った。 紙での提出案件があった。
水使用量の削減	野中友	○	節水に対する意識は高い。
グリーン購入 (再生資源を含む)	野中友	○	事務所内で使用するファイル、コピー用紙等備品の、エコ商品の購入を行った。
ボランティア活動	野中友	○	会社付近の草刈り及び幼稚園の砂入替、献血、を行った。 不法投棄のパトロールも、毎月行っている。

2 現場

取組計画	責任者	達成状況	評価
環境に配慮した施工 (事故の防止、手戻りの防止等)	野中 慎	○	適切な施工管理を実施した結果、手戻りは無かった。
二酸化炭素排出量の削減	野中 慎	○	無駄な電気は消しました。 重機・ダンプの空ふかしは行いませんでした。 現場ではダンプ等は現場事務所に駐車し置いて帰り翌日は相乗りで現場に向かった。
コンクリート殻のリサイクル化	野中 慎	○	工事現場から発生したコンクリート塊、アスファルト殻のリサイクル化は100%達成できたことは、建設系廃棄物マニフェストにより確認できた。
アスファルト殻のリサイクル化	野中 慎	○	又、佐賀県への産業廃棄物管理票交付等状況報告書との整合性の確認を行った。
グリーン購入 (再生資源を含む)	野中 慎	○	現場で使用する再生砕石及び再生As合材の購入を行った。 又、ファイル等の事務用品等もエコ商品を使用している。
ボランティア活動	野中 慎	○	現場周辺の、道路及び河川清掃、草刈りを行った。 地元とのコミュニケーションもスムーズであった。 各現場で定着してきている。

6.2 次年度の取組内容

令和5年度を基準とした目標設定を行いより一層削減を継続し実施する。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用される環境関連法規の違反等の指摘は、ありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

主な環境関連法規名	主な遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処分委託 マニフェストの交付・管理 産業廃棄物の保管基準 	○ 適切に実施
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設資材の分別解体義務 特定建設資材廃棄物の再資源化 	○ 適切に実施
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> フロン仕様機器の簡易点検、定期点検実施 点検及び整備内容の記録 フロン漏えい量の報告 	○ 適切に実施
オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> 特定特殊自動車は基準適合の確認 	○ 対象工事なし
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> 指定地域内における特定建設工事の場合 	○ 対象工事なし
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> 指定地域内における特定建設工事の場合 	○ 対象工事なし
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 使用済自動車の引渡義務 	○ 該当なし
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 製品廃棄の場合は適正な引渡、処理料金の支払い 	○ 該当なし
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> 石綿の有無の事前調査 石綿の有無の事前調査の報告・掲示 石綿事前調査システムに報告 	○ 該当あり
建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 国及び地方公共団体の施策に協力 	○ 該当あり
佐賀県環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷の低減 資源の循環利用 廃棄物の削減 	○ 適切に実施

8. 経営者の評価と見直しと指示

1) 評価

1. 環境に配慮した施工(事故ゼロ・手戻りゼロ)を行った。
2. 節電、節水、エコドライブの実施は定着している。

2) 見直し、指示

1. 継続して、環境に配慮した施工を行う。
2. 継続して、エコ活動を実施する。
3. 継続して、地域ボランティア活動を実施する。

代表取締役 野中 正博